



すまいる

子育て・介護・健康・食育

わらべ歌で ふれあいタイム

寒くてこたつが恋しくなる季節。
こんな寒い日は、大人も子どももくっつきたくなるもの。
わらべ歌でふれあいタイムはいかがでしょう。

だるまさん



1



だるまさんが
ねやんした
ごろん
(だるまさんが寝ました)

2



かけ声にあわせて、
寝転んだり、起き上
がるのがコツです

だるまさん
おきなれや
よっこらしよっとあ
(だるまさん、起きて下さい)

子どもさんをしっかり抱えて、寝ころんだり、起き上がったたり。
運動不足になりがちな子育て中のエクササイズになりますね。

あやし歌



いけえ かわえ ほ～ろか
ちいせえ かわえ ほ～ろか
いっちの いけえ かわえ
どっぼ～ん

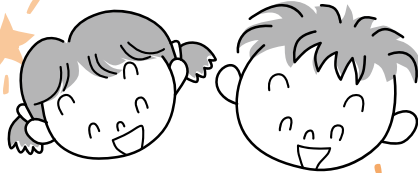
(大きい川へ捨てようか)
(小さい川へ捨てようか)
(一番大きい川へ)
(どっぼ～ん)

わらべ歌は地域やお家によって少しずつちがうもの。
「おふくろの味」ならぬ「おふくろの歌」ですね。
お好みのリズムで楽しんでください。

●問い合わせ 福祉課 TEL62-2703、子育て支援センター わかば保育園内 TEL62-1420
三方保健センター内 TEL45-1563

すまいる

キラリ



三宅っ子

三宅保育所

保育所（園）を紹介するコーナーです。

子どもたちはどんな遊びや生活をしているのでしょうか。

また、保護者の方は保育に何を求めているのでしょうか。



名水カレークッキング



名水をたっぷりくんで



野菜をききんで

新鮮野菜でカレーつくろう

日ごろ散歩などで通い慣れた子どもたちの大好きな場所、保育所の庭とも言える若狭瓜割名水公園でカレーづくりに挑戦しました。

材料の野菜はおじいちゃん、おばあちゃんが丹精こめて作ってくれたもの。にんじん、じゃがいも、たまねぎ・・・とれたて新鮮な野菜を持ち寄りました。



おいしい水をそそいで



大鍋でグツグツにましょ

瓜割名水でグツグツにましょ

年長組が中心となって、自分たちで作る楽しさを感じながら、野菜を洗って、皮をむいて、切って大鍋で炒めます。

そこに、全国名水百選の瓜割の水をたっぷりそそいで、グツグツ煮ます。

保育士の心配をよそに園児たちは包丁の扱いに戸惑う様子もなく、手際よく調理しました。

おなか満腹、気持ち満足

手作り野菜とおいしい水で園児たち自らの手で作ったカレーは絶品。おかわりの長い列ができ、大鍋はからっぽに。

お家の方の手作りの野菜と名水のおかげで普段は苦手な野菜も残さず食べたり、年長児が自分たちで作った自信と小さい子に食べてもらえた達成感を味わうことができたクッキングとなりました。



はい、できあがり

園児と

保護者と保育所が
一つになって

保護者会や母親クラブが主催して、秋のレクレーション「三宅保育所秋まつり」が開催されました。

このまつりは、保護者も参加することによって、保育所と接する機会が増えたり、保育所を知ることができるイベントにしたい、そして何より子どもも大人も一緒になって楽しめる催しにしたいとの思いで、今回初めて企画したものの。

最近では、少子化の影響が保育所から帰るとゲームなどで遊び、外で遊びまわる子どもの姿が見られなくなっています。

そんな中、みんなが集まって遊べるまつりを目指しました。

初開催 秋まつり

三宅保育所



かんぼつくり



わなげ

ゲームはないけど

手作りおもちゃで
大賑わい

牛乳パックと輪ゴムでカエルのようにはねるおもちゃ「ぴよんぴよんカエル」や空き缶にヒモをつけて竹馬のようにポコポコ歩く「かんぼつくり」。

余った布切れや毛糸を利用したお手玉やあやとり。

どれも身近にある不用品を利用した素朴でエコな遊びをみんなで一緒に楽しみました。



バルーンアート

園内に川を作り、木を植えよう



三宅保育所 保護者会
会長 森口由浩さん
(井ノ口)

核家族化や少子化が進んでいる中、保育所は子ども同士が遊び、学びあい、成長できる貴重な場です。

自然に親しんでほしいと思うものの、例えば、近くの北川までは、道中クルマの危険や川では増水や急流が心配されます。

そこで、身近に水と触れ合える場をとる思いで、園内に小さな川を作ろうと話合っているところです。

また、今あるくるみの木に加えて、クラスの名前の「かりん」、「どんぐり」、「さくらんぼ」の木を植樹する計画も進行中です。

平成 22 年度

町功労者表彰

町の福祉や産業、自治などでまちづくりに尽力された方々が、11月3日に町観光ホテル水月花で若狭町功労者表彰を受けました。

今年度の受賞者は12人です。(年齢順に掲載)

福祉功労



宮本 重光さん
(熊川・81歳)

旧上中町民生児童委員
3期

保健衛生功労



川島 實さん
(井崎・79歳)

三十三地区簡易水道組合長2期、旧三方町簡易水道施設組合連合会副会長1期、若狭町水道施設検討委員2年

産業功労



柘原 善一さん
(気山・78歳)

はす川土地改良区事務局長7年、はす川土地改良区理事11年8ヵ月

福祉功労



西 治子さん
(堤・74歳)

旧上中町民生児童委員
3期

福祉功労



松尾 正典さん
(新道・73歳)

旧上中町民生児童委員
3期

自治功労



村上 正夫さん
(上吉田・73歳)

旧上中町議会議員1期(副議長1年)、旧上中町監査委員、若狭消防組合監査委員

文化功労



原 稔さん
(梅ヶ原・72歳)

文化協会会長(現職)、同副会長、同事務局、「川柳湖畔」団体長

教育・自治功労



杉谷 正美さん
(協袋・72歳)

旧上中町議会議員1期、若狭町教育長1期、若狭町保護司会会長、若狭地域保護司会副会長

福祉功労



谷口 正さん
(白屋・72歳)

旧三方町民生児童委員
3期

教育功労



高橋 利男さん
(無悪・71歳)

旧上中町教育委員会委員長、旧上中町教育長、旧上中町人権擁護委員

福祉功労



加藤 美枝子さん
(鳥浜・71歳)

旧三方町民生児童委員
3期

環境・産業功労



吉田 良三さん
(鳥浜・70歳)

鳥浜漁業協同組合理事17年、同組合長2年、三方五湖浄化促進協議会代表

伝統文化のつどい

古来から脈々と受け継がれてきた伝統文化
これからも大切に守り伝えるために……



天満宮の神事
(藤井)

毎年4月に奉納。田楽は豊作を祈願する子ども5人の舞。獅子舞は氏子に幸せと恵みをもたらす。(県指定無形民俗文化財)



浦安の舞
(山内)

毎年4月の春祭りに奉納。伊勢から師匠を招き振付を習ったと伝えられる。浦安には心安らかという意があり、平和を祈る舞。



国津神社の神事
(向笠)

室町時代から約600年継承。毎年4月、世久見海岸での垢離搔きに始まり王の舞、田楽などを奉納。(県指定無形民俗文化財)



六斎念仏
(瓜生)

空也上人により始められ、時を経て六斎日に唱えることから六斎念仏と言われる。毎年8月に行う。(国選択無形民俗文化財)

11月14日、若狭町伝統文化保存協会主催の「第2回伝統文化のつどい」がパレオ若狭で開催されました。

このつどいでは、町内4集落の民俗芸能のほか、島根県浜田市の勇壮な「石見神楽」が披露されました。

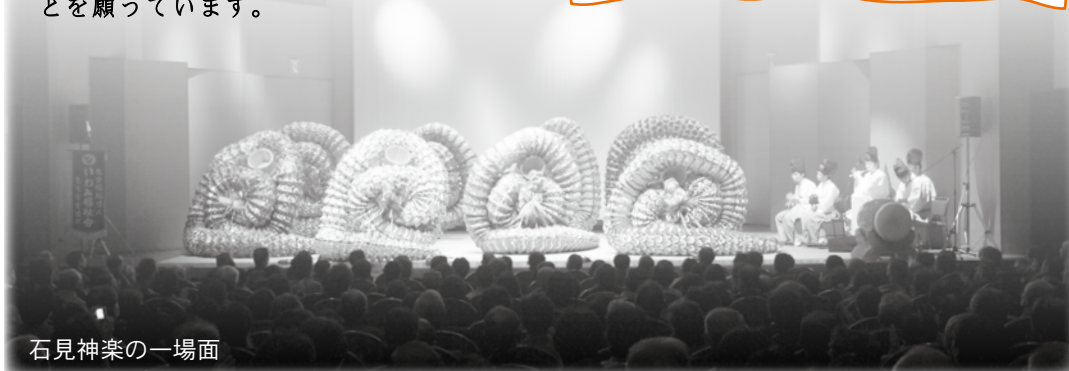
近年、生活様式の変化や少子高齢化などによって伝統的な文化が急速に失われようとしています。

さまざまな地域の民俗芸能をご覧いただき、地域の誇りを再認識し、伝統を受け継いでいくきっかけとなることを願っています。



石見神楽
(島根県浜田市)

神職による神事であったものが明治からその土地の民俗芸能として広まる。他に類を見ない勇壮にして速いテンポの神楽。



石見神楽の一場面